和教時報
2023年12月15日（金）発行　第2004号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みばん

4年ぶりの完全対面式開催

2023未来をひらく教育のつどいin日高

たくさんの方が集い 心温まる 集会に！

和教組 教文部長 山崎 浩廉

日高高校箏曲部の演奏

一二月一日（金）に御坊市民文化会館で全体会が、翌日の二日（土）には紀央館高校で分科会が行われました。全体会にはおよそ三五〇名、分科会にはおよそ二六〇名の参加者がありました。

全体会は日高高校箏曲部の演奏で始まりました。部員一五名の息の合った演奏を披露していただきました。参加者からは「生徒のみなさん、とても凛としていてかっこよかったです。静かなイメージだった箏の演奏がこんなに迫力があるとは思っていなくて、驚きと感動でした!!」「心の中に浸み込むような音色でした」との感想がありました。

司会の森さん（左）、三木さん（右）

続いて、長谷川義史さんの「へいわってすてきだね」の講演。絵本の読み聞かせやウクレレ演奏にライブ紙芝居・ペインティング（その場で絵を描いてくれる）そして、それぞれの作品についてのエピソードをゆったりとした口調で語っていただきました。

長谷川義史さん

参加者からは「長谷川さんご本人の読み聞かせを聞けたことは とても とても幸せでした。小二の息子と共に参加しましたが、長谷川さんの読み聞かせに笑ったり、真剣な表情になったり、長谷川さんの一言一言、スライドの一枚一枚に反応していました。とてもとても楽しそうでした。私にはええ時間でした。長谷川さんにも息子にもありがとう」「みんな強くてみんな弱い。みんなの心から平和は作られる。それぞれが、それぞれを認めあえる世界を望みつつ自分が今できることをできるだけ、していこうと思った」という感想が寄せられました。どの話もすごく興味深かったのですが、私の中では絵本「おおにしせんせい」のところで「廊下をじっとみていると、単なる茶色ではなくて、赤いところもあれば、黄色が入ったところもあり、さまざまな色に見えてくる」のエピソードが心に残りました。図工の授業を通して子どもたちに伝えたいことは何なのか？本当に教育の大切な部分を感じることができました。「物事をじっくり捉える」この時代に本当に大事にしなければならないことを投げかけていただけたと思っています。

分科会

翌二日（土）の分科会ではここ数年コロナ禍の中で開催できなかった分科会もありましたが、今年は一八分科会すべてを実施することができました。レポートは高校・一般と合わせて四七本と研究者からのミニ講演九つがありました。「久しぶりに集まって、時間をかけて実践の話ができて良かった」「はじめて参加したけど内容が素晴らしかった」の感想があり、大いに盛り上がりました。多くの参加者の心を動かす集会になりました。開催のため、現地で支えていただいた日高の組合員さんに感謝し、来年につなげていきましょう。

県教委の交渉削減の策動ゆるさず

2023 確定交渉

和教組　書記長　川口　貴生

賃上げ、「先読み加配」拡充、会計年度任用職員の待遇改善など、貴重な成果を勝ち取る

今年の確定交渉は、県教委が交渉の回数を減らすことを目的に、第二回交渉で主な前進的回答を行い、第四回交渉で「回答はない」と回答することを画策しました。「第四回交渉はやってもムダ」ということを私たちに思い知らせ、交渉をやめさせようという不誠実なやり方です。そして、実際に県教委は、その通り第四回交渉の最終回答で、「皆さんの期待に沿える回答はありません」と回答し、会場から「え～っ」という声が上がりました。

しかし、全く「回答なし」にはなりませんでした。県教委は最終回答の前段で「交渉の（回数を含め）進め方については組合の合意を尊重する」と答え、後段には「時間計測や業務改善などを校長や地教委に指導していく」など、多忙解消に向けての「決意」を語りました。また、第四回交渉のやりとりの中で、「先読み加配」の対象職種の拡大（事務・養護・栄養などへ）などについて継続協議とさせることもできました。

全くの「回答なし」にさせなかったのは、粘り強く交渉し、正当な要求を訴え続けた結果です。何より、第四回交渉も含め、毎回の交渉に多くの組合員が参加して力を合わせて得た成果だといえます。

今回の交渉では、十分とはいえませんが、再任用者も含め全世代の賃金改善を勝ち取りました。また、「先読み加配」の対象校種を高校、障害児学校の高等部にも拡大させることができました。

そして、会計年度任用職員の賃金の四月遡及（一般職員と同様に四月に遡って給与改定を行うこと）や、勤勉手当の実施も大きな成果でした。障害児学校の給食員や介助員が、募集しても集まらないという深刻な事態が起こっています。和教組は、確定交渉に向け署名に取り組み、障害児学校部や支部では、会計年度任用職員の方々と懇談したり、手紙を送ったりしてきました。そうした中で、三〇人近い方が和教組に加入し、主体者として奮闘しました。職場で集めた四六八〇筆の署名も大きな力になりました。

久しぶりに大勢が集まった交渉で、はじめて実参加した青年は、「会場の雰囲気を感じられてよかった」と話しました。また、「組合のことがよくわかった。組合を知らない人にも説明しやすくなった」という声もきかれました。

確定交渉は、私たちが県教委と対等の立場で交渉できる貴重な機会です。県教委の交渉削減の策動を今後も許さず、働きやすい職場環境をめざして、引き続き頑張りましょう。

那賀支部

青年部バレーボール大会を終えて

那賀支部　荒川中分会　野口　亮太

一一月二三日（木）にソフトバレーボール大会を行いました。コロナの影響でここ数年できておらず、久しぶりの開催であったため、参加チーム数は少ないのではないかと心配に思っていましたが、一七チーム参加いただくことができました。この数年、小中の先生が集まる機会や、市を超えての交流がなかったため、久しぶりに会う同僚と話に花を咲かせることができました。また、教え子に会ったり、自身の子どもの担任の先生に会ったりもでき、有意義な時間となったように思います。

競技では、どのチームも前向きな声かけをし、それぞれが勝利を目指して頑張りました。仲間のミスは周りでカバーし合い、苦しい場面でも相手コートにボールを返す。普段の職場でのチームワークがそのままコートに表れているようでした。中学生のスポーツの大会に勝るほどの雄叫びや、大きな歓声が体育館いっぱいに広がりました。大会に向けての各校での練習、そして優勝を目指して汗を流した当日により職場の仲もより深まったのではないかと嬉しく思っています。

大会結果は、中央小学校の「中央ヤングチーム」が優勝、準優勝は同じく中央小学校の「中央プロチーム」、三位に荒川中学校の「ピーチピチピッチ」でした。

この大会を通し、少しでも組合のことを知ってもらい、若い組合員も増やしていければと思います。

東牟婁支部

青年部ソフトバレーボール大会！

東牟婁支部　三輪崎小分会　中西　弘美

十一月十八日（土）、四年ぶりのソフトバレーボール大会（互助レクと共催）を開催しました。十チーム、総勢約七十名の参加で、気持ちのよい汗を流しました。

今回、四人一チームで男女比も自由。各学校でチームを組んだり、個人参加も受け付けたりして、老若男女たくさんの先生方で交流しました。

試合では、バレー経験者の迫力あるアタックやレシーブが炸裂したり、未経験者も練習の成果を出したりと大盛り上がりでした。一方で、「パパ！がんばれ！」と、お子さんの応援も響きわたり、温かい雰囲気にも包まれました。

優勝は、北山小中学校の『新鮮組』チームでした。北山村からはるばる会場の太地中学校まで来てくださった新鮮組。景品の「ラーメンセット」をゲットしました。

その後は、お楽しみの『お菓子まき』をしました。チョコやクッキー、おせんべい、飴、グミなど、たくさんのお菓子をまき、大人も子どもも、「キャーキャー」「ギャーギャー」と楽しそうに集める姿が見られました。さらに、その中には、当たりシール付きのお菓子が混ざっており、十名にQUOカード、九名にコメダのコーヒーチケットをプレゼントしました。

最後の最後まで楽しみいっぱいのイベントとなりました。

ぜひ あなたにも 読んでいただきたい この一冊

16 「教室マルトリートメント」

西牟婁支部　上秋津小分会　**廣畑　奈央子**

私がお勧めするのは、川上康則先生の「教室マルトリートメント」という本です。「マルトリートメント」とは、不適切なかかわりや養育のことをいい、この本では、教室の中で知らず知らずのうちに子どもたちを傷つけてはいないかということを具体的な例を挙げて教えてくださっています。

そもそも私がマルトリートメントに興味をもったのは、特別支援学級の子どもたちとの関わりのなかで、保護者さんの適切な関わりの大切さをとても感じたからです。小学校入学にあたって大きな支援が必要だと思われたお子さんが、自分でできることがどんどん増えて、生き生きと学校生活を楽しむ姿を見たり、一方で、保護者さんの不適切な関わりにより、とてもかわいそうな状況に追い込まれる姿を見たりしたのです。保護者さんの関わり方で、子どもの成長が大きく変わるのを感じました。

子どもたちとの関わりは、保護者さんだけではありません。私たちは、教職員として、日々、子どもたちにたくさんの言葉を投げかけています。その言葉が、知らず知らずのうちに子どもたちを傷つけているとしたら…それは、とても辛いことです。この本を読むと、ほとんどの人がハッとするのではないかと思います。言っちゃってるのです。自覚があるかはわかりませんが。

子どもたちや先生たちにとって、一日の大半を過ごす学校が、少しでも居心地の良い場所になるといいなと思う今日この頃です。

年末・年始

県教育会館閉鎖のお知らせ

左記の通り会館を閉鎖しますのでお知らせします。

12月29日（金）～1月4日（木）

和教共済WKKからのお知らせ

12月29日から１月４日まで事業センター閉鎖のため、和教共済の業務は、休業となります。

自動車事故等発生時の連絡先

フリーダイヤル（24時間）

0120-36-7860

その他のご用件については1月5日以降に☎073-436-7860和教共済にご連絡下さい。

教職員と家族を守る

全教自動車保険

全教自動車保険は、全教各教職員組合と東京海上日動が提携して行う団体扱・集団扱の自動車保険です